

'86秋は読書の秋だ。

「児童文学愛好会」

入会資格：児童文学を愛好する方
ならどなたでも。

例会：毎1回、5時過ぎから。
P地下 学年教室。

活動内容：例会では児童文学・絵本集
会評。

文集“いのえんぱつ”的作成。

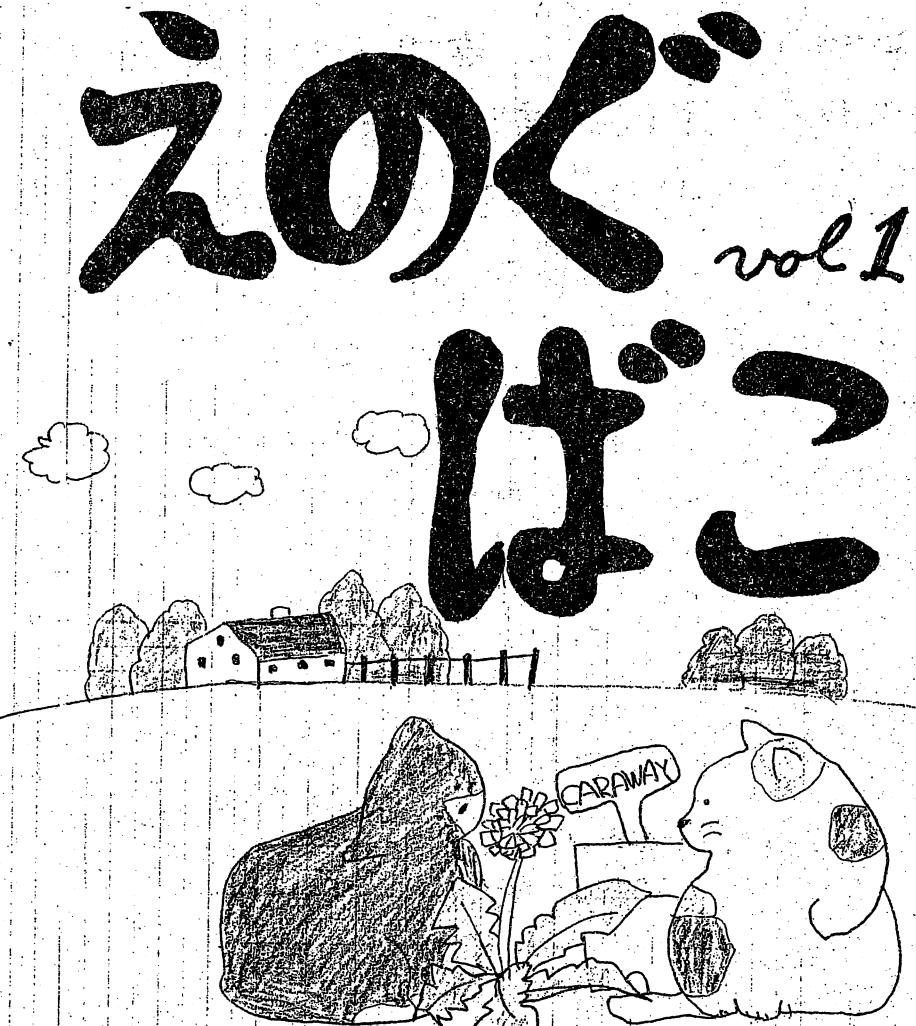
NFT 口读茶くわはん。

えのぐばこ発行。

合宿、コニバ etc. etc.

創作(たり)、紙芝居(つくしり)、人形劇
(たり)、話(はな)したいする中(なか)、みんなの
夢(ゆめ)をふくらませ(ませ)ゆけたら、夢(ゆめ)かな。

事務局 [REDACTED] (幹) 菊川



P系サークル 児童文学愛好会

SFAの方がまじめいし、推理小説の方が
スリルがあつ楽しいし、戯曲の方がおせか、
など、ともやぱり、西薫文学には感
情をよぼえてしまします。

子供の心の純粋な心を思い出せん
くふろしじゃなく、子供の心を通して人間
の一番大切なことを教えてくれるが、
西薫文学なんだと思います。

「兎の眼」

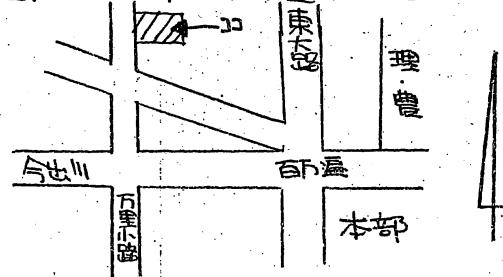
又吉健次郎著
(角川文庫)

他人のことを本筋に置いてかることが
できる人、こすてきたなと思います。
「太陽の子」と同じく、少耳馬鹿教師を
ついた又吉さんの軽い思ひが感じら
れる作品です。

教職をとっている人には必読書といえま
しょう。とにかく一度読んでみて下さい。

。かいし館

市、刀出川町万里小路上



わりと有名な西薫文学専門の本屋さん。
絵本を中心とした蔵もある紙芝居などがいっぱい。
また、陶板画のちっちゃい机とちっちゃい
椅子が置いてあります。

11:00 ~ 19:00



図書館＆本屋さんの紹介

○京大教育学部図書館

児童文学を卒論のテーマにする人は少ないはず
なのですが、なぜか大量にあります。D以外の人が借り
る場合は所属学部の許可証が必要です。

開館時間（平日）9:00～16:45（土）9:00～12:00
(12:00～13:00休憩)

○京都府立図書館 左：田崎公園内

9:30～18:45 児童館13:00～17:00

日祝日及び月末休館

図書館としては京都で一番大きい。貸し出しは
2冊、2週間以内

○京都都市中央図書館 中：丸太町七本松西入ル

10:00～20:30 児童図書室13:00～17:00

12月28日～1月4日 休館。

貸し出しは3冊、2週間以内。

○京都図書館 右：高野東園牛町

9:30～16:30 火・祝日休館



「トムは真夜中の庭」 フィリップ・ピアス作/高杉一郎訳
(岩波少年文庫)

真夜中の庭園で遊ぶトムとハイ。時間という
抽象的な問題に真正面からといこんだフィリッ
ピアスの傑作。

私たちはみんな、自分の中に子供を持っていますのだ。

「飛ぶ教室」

エリヒ・カステナー作/高橋健二訳

(偕成社文庫)

キリスト教系の学校の寄宿舎生活の経験の
ない人には、ちょっとよくわからないところがある
かもしれません。しかし、ここでの人間のふれ
あいは、これを読むすべての人々に感動を
与えてくれるに違ひありません。「飛ぶ教室」
が、第二次世界大戦の、十四歳の支配下において書
かれたという事実がまた新たな感動を我々
に与えてくれます。

「旅の繪本」

安野光雅作

安野さん独特のスタイルで手を繪が私たちの想像力をかきたててくれます。隠し繪を探
したり、自分で物語をつくり、自分なりの樂
しみ方ができる繪本です。プレゼントするのも
すきです。

「偉大なワンドウードル最後の一びき」
著者スビタニ時子訳
（TBS）

ク存のじ彼
御てシ数は
ジをし。きを語せ
一スとかび物物ま
ユ一家う1動のし
ミュ作よにう旅楽
オド文でのと險者
ユン章いコル冒読者
ウンド・ア児ながドくで
映して少とたが想
サユせい人ソラ天
画のれ少とたが想
ウリんののドシな奇
映てしはちっな奇
ユ演は御人なをら
ミの方を8く難かす。
な因初ま

「モモ」
著者/大島かおり
（岩波書店）

意はない
見
の語の
つも
たこと
ま標々な
しま
た時間
こと
ま標々な
とる
ろがる
下の頭
とる
とる
頭には
よろがる
で、を口に
する



「さらば、おやじどの」
著者野暉上理
(講談社)

最始し時このの
めみでても年度
た読んい言少態
るん込て一のる
あたきうい人め
でつ引まな1眺
音いを詰氣。ら
ん、者い何すか
ぶが読ば。ま場
いんどんえ立
ずせほいせ思た
がまるがまくっ
景れせ題れし違す。
背しま問ららをま
代も読なじ贈事れ
語く後の全てしさ
物に最代どと通識
長つ氣、感で程再
につけす和中過を
いきに現なはを認
常ととま達の性
非はるいの本長要
初めて代の成重

「二人のイーダ」

松谷みよ子作

「イイ、イイ、ドコニモ…イイ…。」
ひくいしあがれ声でそうつぶやきながら、いすは歩いていく。

直樹は妹のゆう子(通称イーダ)とともに花浦のおじいさんの家に泊ることになるが、そこで直樹は奇妙ないすに出会う。自分の上の子で遊んだ子。イーダがある朝おじいさんと出で、たきり帰てこない。待っても待っても帰てこない。待ち続けるうちにいすは自分で動くことができようになり、イーダと携手して歩きまわるようにな、たといふ。そして、まるでいなくな、トイーダ本人のようにいすと並びゆう子の手を直樹は見る。

い、いハイーダはどこへ行、たのか。ゆう子はイーダの生きかわりぬか。

「広島」とファンタジーの手本で描き上げた、松谷みよ子の代表作。

「たれも知らない小さな国」コロボックル物語① 佐藤さとる 作

小学三年生の夏、ぼくはそこを見ついた。ぼくたけの木密の小山。
ぼくはそこで運動靴にのったセシングなどの小さな人を且
撃し、21の夏に人間で初めてのコロボックルの味方にな
た。ある日、道路計画がもちあがり、小山がつぶされてしまうといふ。ぼくとコロボックルは小山を守るために心死の
活動を始める。

せいたかさん(ぼく)とコロボックルが出会い、ぶり
合い、共に活躍するコロボックル物語の第一作。

コロボックル物語のへ、コロボックルのトトちゃん
など、佐藤さとるの作品は講談社文庫で刊行中です。

